

I サービスの向上について

3 利用促進のための取り組み、利用者への対応、利用料金図

(1) オリンピック開催県としてふさわしい、開かれた港湾を目指した利用促進の取組

① セーリングの国際大会等が行われる際の実施方針、広報・PR活動の内容等

ア セーリングの国際大会等が行われる際の実施方針や、海外選手の受け入れ、多言語への対応、レース海面の調整、会場レイアウトの考え方などの実施内容等を記載してください。

(かながわ女性センター跡地のうち、今後、湘南港の区域に編入予定の約5千㎡の利用については、募集要項14ページに記載のとおり、今回の提案の対象にはいたしません。)

【要約】セーリングの国際大会等が行われる際の実施方針、実施内容等

- ✓ 豊富なセーリング大会実績をもとにした安全円滑な大会運営
- ✓ 海外選手の受け入れに際して、①宿泊所等の提供・送迎、②文化イベント開催、③レスキュー艇提供や自転車のレンタル等も実施予定
- ✓ 参加国毎の言語対応サービス(ユニバーサルデザインの活用含む)
- ✓ レース海面の適切な調整
- ✓ エントリー数に応じたヤード等の会場レイアウト詳細を検討し、来場者も楽しめる設計を展開
- ✓ 行政や港の既往利用者及び近隣関係者と、大会実施にあたっての課題について調整
- ✓ 関係各所への漏れのない事前告知と協力依頼
- ✓ 安全・衛生管理の徹底

1.国際大会等を行う際の実施方針

当社では過去にセーリング国際大会を開催した、十分な実績*を有しています。

指定管理者として国際大会等を受け入れる際の実施方針を以下に示します。

※当社実績：2016年ヤンマー 国際モス級世界選手権大会(於 葉山港)

2013年OPアジア選手権大会(於 リビエラ逗子マリーナ)等

2013年ブラインドセーリング世界選手権(三浦市・リビエラシーボニアマリーナ)



国際モス級世界選手権大会(2016年)



OPアジア選手権大会(2013年)

当社には、国内外セーリング大会の運営実務経験を数多く有するスタッフがおり、
の要職も兼任していることから、主催者の視点も持ち合わせています。より大会主催者の要望を汲みとる対応が可能であるとともに、世界水準の運営スキル・情報を社内展開しています。

要職例：

指定管理者として国際大会等を受け入れる際の実施方針を以下に示します。

(1)適切な事前調整

トラブルなく、また公正な大会を開催するため、各関係者と漏れなく調整を行います。

①大会主催者との綿密な打合、及び受入れ準備

- ・開催期間、艇数、艇種、運営に必要な施設の手配、広報、参加国、滞在期間、滞在場所等
- ・レースからレセプションパーティーに至るまでの進行内容の提案
- ・エントリー数を確認し、艇の受け入れスケジュール及び置き場所等の準備
- ・大会実行委員会と注意事項の確認
(搬出入について、近隣住民に迷惑のかからない様に徹底)

②通常の施設利用者及び近隣関係者との調整

- ・大会開催の事前告知を実施
- ・課題があれば調整を行い、合意形成をしたうえで協力を要請
- ・開催期間、利用の制限、その他注意事項

(2)安全管理および衛生管理(主催者の補助)

①大会時は主催者からの要請に従って、運営補助を行います。

- ・海面事故やトラブルを防ぐためのレスキュー艇出艇

②新型コロナウイルス感染拡大防止への対応

(3)多国籍な選手への対応

①多言語対応による平等な情報提供

- ・施設使用に関する注意事項や利用場所の説明を国際共通語として英語表記で準備
- ・ボランティアの協力なども含め、出来る限り参加国毎の言語に対応するよう配慮
- ・選手へのレースに関する連絡・お知らせ・注意などは SNS やメール等を用いてリアルタイム発信し、聞き逃し等を防止

②ユニバーサルデザインの徹底

③移動や宿泊、食事等の支援

(4)広報・PR等の活動、来賓への対応

①大会のPR、各種メディアの対応

②世界に向けた、日本の情報発信

③開催当日の来賓対応(高円宮妃や参加国要人の観戦、対応)

④大会前後の海洋振興(主に地域や県民を対象としたヨット体験会やレース等の開催)

2.海外選手の受け入れ

海外選手の受け入れに際しては、おもてなしの精神を継承し、来日選手及びチームの負担軽減となるよう鋭意サポートします ((1)~(5))。

また、会場で需要が想定される下記サービス ((6)~(7)) を展開します。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策は、貴県及び政府の最新の指針に従い、適切に対応します。

具体的なサポートとして、以下を想定しています。

(1)宿泊施設の提供・手配

要望に応じて、宿泊施設を提供または手配します。

- ・当社グループのホテル、マンション、レジデンス及び周辺宿泊施設

(2)レセプションパーティーの開催

地元のボラティア団体や行政の協力を得て、選手達の歓迎レセプションを実施します。パーティーでは、参加国の文化や嗜好を考慮しつつ、日本も感じられる料理とサービスを提供します。

- ・パーティーでは、多様なニーズに応えられるよう着席・立食スタイルをともに用意
- ・料理は、和食・洋食・その他を用意し、アレルギーおよびビーガンにも対応

湘南港ではスペースが不足する場合、当社グループ所有の会場を提供します。これにより、会場賃貸費の節減と民間施設ならではの華やかな演出が可能です。

会場例：リビエラ逗子マリーナ内オーシャンスイート（立食 150 名収容可）

(3)文化交流イベントの開催

日本文化を身近に感じて頂くパーティー演出を提案し、各種イベントを企画します。

- ・和太鼓、浴衣体験他
- ・参加記念品として地元の特産品等を準備

(4)送迎

海上輸送及び陸上輸送について、対応します。

- ・マイクロバスや観光バスの手配

(5)レース運営艇・レスキュー艇の提供

要望に応じて、提供します。

(6)会場での休憩場所や食事の提供

各国チームの休憩場所やコンテナ置場、気軽に摂れる良質な食事をケータリングにて用意します。

(7)レンタルサイクルの提供

選手や大会関係者の利便性と SDGs を考慮して、施設内及び周辺で利用できる自転車を貸出します。



会場の演出

参加国国旗の掲揚

表彰式



日本文化の発信

楽しみながらの国際交流

上質で多様な料理の提供

3.多言語化への対応

港内施設の各案内表示は日本語の他に英語の付記を基本とし、特に選手が集まる各所（メインロビーやヤード内）については、施設説明と注意文を英文表記で準備します。

情報が不足するものについては常時見直し、必要に応じてピクトグラムなどを追加したユニバーサルデザインを徹底します。

国際大会開催時は、当社の通訳可能なスタッフを配置し、円滑なコミュニケーションが可能な体制を整え、ボランティアの協力なども含め、出来る限り参加国毎の言語に対応するよう配慮します。また、通訳アプリも併用し、コミュニケーションを補強します。

※オリンピック開催時には葉山港にてイギリスチームの受け入れを行っており、英語版で港の利用案内や申請書を準備するなどの取り組みを行ってきました。

湘南港でも必要に応じて作成、対応いたします。



国際大会でのインフォメーション

ヤード内掲示板(注意事項、レース結果)

第6号様式(第9条関係)

(用紙 日本工業規格M縦長型)

神奈川県取入証取ちよう付欄

臨時陸置施設利用承認申請書(Landing)

Date / /

葉山港指定管理者
株式会社リビエラリゾート
代表取締役 渡邊 昇 様

Country
Address in Japan
Name
Mobile

次のとおり短期による陸置施設を利用したいので、承認を申請します。

Name	Age	Address	Mobile
Crew			
Boat name		Rib/Yacht	
Sail No.		Length	m
In time	/ /	at	:
Out time	/ /	at	:
※出港確認	月 日	時 分	
行 先		※ Cost	円

注 ※印の欄には、記入しないこと。

出艇届(英字版)

PORT OF HAYAMA : General Terms & Requirements for Use

Revised in MAY 2019

- Sail slowly and safely inside of the port at any time except in case of emergency.
- It is not allowed to get on motor cycles, bicycles, roller blades, skateboards, in the port yard.
- It is supposed to apply to the port office for the "Notice of Registration" as soon as possible when arrive at the port. The same also in the case of modify, change, and so on.
- The port office, the hours of business are from 8 a.m. to 5 p.m. If you need to extend work on operations, tasks, repairs, during outside of business hours, it is supposed to apply for the "Overtime Notification". However, it is not allowed to work any task, process, after sunset.
- It is supposed to apply to the port office for the "Notice of Departure" before going to sail out.
- It is necessary to carry any operation out: fitting out, being equipped, under equipment, at designated spot, inside the white line. It is not allowed to work at undesignated spot. Any boat's chandlery, equipment and supply, fittings, rigging, tacking, mooring, and any maintenance tool should put in designated spot, inside the white line at any time.
- Any boat trailer is supposed to park at designated spot altogether while going to sail out of port. It is not allowed to leave any boat trailer unattended on the slope way at any time.
- It is not allowed to throw rubbish away on the port yard. According to the Hayama Municipal Ordinance, it is necessary to separate the rubbish: food scraps, disposable shopping bags, bottle, can, PET, burnable — unburnable refuse, metal scraps, wood chips, plastic shards, etc., then, to put them in the appropriate bin. It is necessary to collect any rubbish, generated during work on operations, tasks, repairs, also the same. In addition, it is better not to leave foods and leftovers in disposable shopping bags on the port yard to prevent them from being scattered by birds.
- With regards to rescue boats, inflatable boats, motor boats, those are supposed to berth the Northern Pier. If really crowd, no place to come alongside the Northern Pier, try to lay side by side, at shorter front, back, right and left intervals among other boats in order from back position as much as possible. As a general, berth the Central Pier by permit only.
- The end of the Northern Pier (columns no.1-2) is only for use in emergency, it is supposed to avoid.
- Please make sure to bring all your belongings with you, when you take the exit.
- While berthing the pier overnight, it is necessary to take safety measure and protection method against rough weather: typhoon, high tide, strong gale, earthquake, at your own risk.
- While going to sail out of port, it is not allowed to leave any belongings: equipment, luggage, footwear, clothes, on the pier. It is not allowed to occupy the pier at any time.
- It is supposed to go through the courtyard's door on the first floor to enter the locker room in the office building who wear drenched clothes, soaked swim suit, dripping wet suite, and so on.

We would appreciate your support and cooperation. We hope you will have a great time in Hayama.

ご利用にあたってのお願い(英字版)

4.レース海面の調整

レース海面の詳細な調整は、日本セーリング連盟の組織である水面調整会議、神奈川県セーリング連盟の協議に参加します。

会場の指定管理者として、主催者が円滑に大会を運営できるよう、地域事情について正しく伝達するとともに、地元関係者との綿密な調整を行います。特に、漁業関係者との調整は丁寧に行います。

なお、海面利用者は多岐にわたり、双方の安全管理に直結するため、時間的に十分な余裕を持った工程を心がけ実施し、トラブルのないように注意します。

(1)海上保安庁

事前調整及び申請（レース開催予定日より3ヶ月以上前より開始）

(2)江ノ島片瀬漁業協同組合、藤沢漁業協同組合、片瀬漁港等

レース時間帯・海面の共有と承認可否の確認を行います。また、遊漁船を営む事業者にも、定期的な打合せを実施し、連絡体制等を構築しておき、大会開催前には開催内容の説明や利用ルール等の協議を円滑に行います。

(3)周辺マリーナ

周知（事前に期間・エリア・使用時間等を記した印刷物の配布と協力の願いをします）

(4)ウィンドサーフィン他、他のマリンレジャー団体

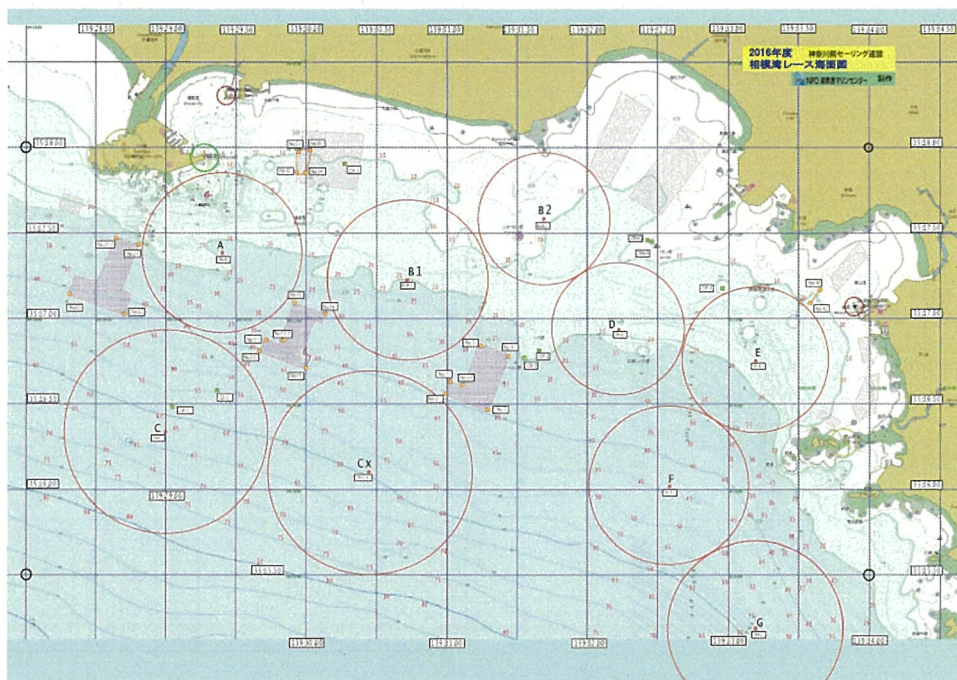
周知（③と同様）

(5)契約者

周知・調整（スロープ等使用禁止期間の連絡、必要があれば既存の契約艇の移動を依頼）

(6)レース調整

複数レースが同日に開催される場合は、レース海面の重複を避けるよう、各担当者との事前打ち合わせを行います。



レース海面調整案内の例

5.会場レイアウトの考え方

オリンピックや国際大会開催時の運営レイアウトをベースに計画するほか、大会関係者への聞き取りにより、より良いレイアウトの検討を行います。また、今後の国際大会開催時にはアンケートを収集し、その後の大会レイアウトの改善に努めます。

(1)コンテナ

コンテナは船具庫横にて積み下ろし、臨時バースにて仮置きを許可します。コンテナの利用が多い場合、駐車場の一時部を臨時バースとして活用し、保管してもらうこととします。

(2)運営艇・コーチングボート

運営艇は、海上係留のビジターバース等を優先的に開放し、南浮棧橋（ディンギーバース付近）には船が混雑しないように配慮します。浮棧橋付近の混雑が予測される場合は、臨時浮棧橋の仮設等も含め、検討することとします。

(3)選手ヨット

各艇の動線を考慮し、大会タイムスケジュールをもとにカテゴリ別の配置を行うこととします。選手艇エリアに該当する既存の利用者艇等がある場合については、大会3か月前頃より移動に関する調整を行い、他の場所への一時的な移動をお願いすることとします。

(4)レセプション・表彰式会場

レセプションや表彰式会場は湘南港の管理事務所2階スペースなどを活用します。なお、レセプションにおいてスペースが不足する場合は、必要に応じてリビエラ逗子マリーナの会場の利用も検討し、よりニーズに合った会場レイアウトを検討します。

(5)大会運営担当者・関係者のミーティング

大会関係者のミーティングについては、雨天の場合も考慮し、会議室を利用させていただくように調整いたします。

(6)報道関係者の待機室

報道関係者についても、雨天時等の影響を考え、室内又は野外テント（仮設）等を活用し、調整します。

下記に国際大会を開催した場合のレイアウトを示します。



会場レイアウト例(オリンピック)



会場レイアウト例(ワールドセーリング)

イ セーリングの国際大会等が行われる際の広報・PR活動の内容等を記載してください。

【要約】セーリングの国際大会等が行われる際の広報・PR活動の内容等

- ✓ ISAF・JSAF への大会スケジュール掲載
- ✓ 駅周辺等に宣伝旗の掲載等による視覚的な誘致
- ✓ ホームページや SNS を活用した宣伝
- ✓ 当社会員誌や専門誌にレース情報の掲載、ラジオ、TV 撮影依頼時の情報提供・調整等
- ✓ 大会前後で希望者が増えるセーリング・クルーズ体験会の開催、海洋レクリエーションの普及

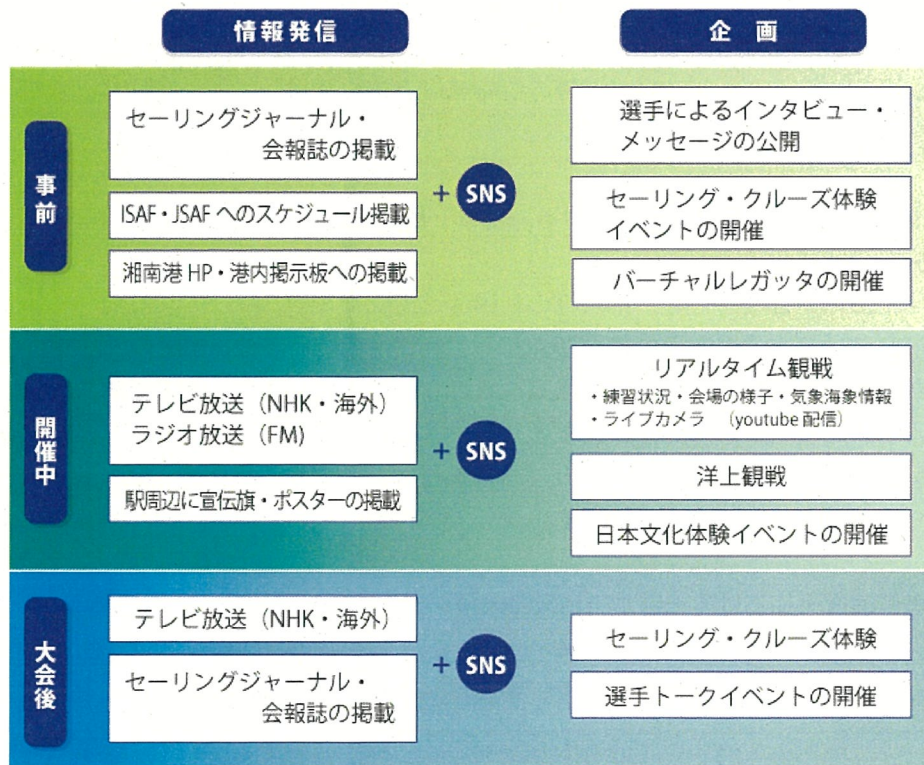
国際大会の開催は、広報・PRによってセーリング愛好家に限らず、国内の海洋スポーツ振興を活性化する絶好の機会であるとともに、海外に湘南港及び日本をプロモーションすることで、インバウンド観光促進による地域経済活性化も期待することができる、優良コンテンツです。

広報・PR の考え方として、既に関心のある方、初めて大会の存在を知る方、各世代、海外等、全ての方の目に触れる機会を得られるよう、各種媒体にて積極的に展開します。

PR 媒体としては、首都圏への通勤者、湘南地域への観光客の目に触れる駅周辺等に積極的に宣伝旗を掲げ、視覚的な誘致効果を図ることにより、江の島のオリンピックレガシーとともに効果的な誘致を図ります。大会前後にはヨット体験希望者が増える傾向にあるため、当社会員誌や専門誌にセーリングやクルーズ体験にも積極的に発信し、海洋レジャーの普及も推進します。

なお、選手やチーム向けの情報もホームページや SNS を通じて積極的に発信することにより、さらに選手やチームからの情報発信がなされ、相乗的な効果が発揮されることが期待できます。

大会実施における当社の広報・PR 活動の内容を以下に示します。



広報・PR 活動の内容

- ② より多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、広報・PR活動やマーケティング活動の内容等
- ア より多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、実施内容等について、公の施設としての公共性、公平性、提案内容の具体性及び実現可能性を踏まえ、記載してください。

【要約】より多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、実施内容等

- ✓ 海の駅への登録
- ✓ 施設の無休化と営業時間外における一部サポートサービスの提供
- ✓ 空きバース等の掲載・募集の高頻度化や契約形態の多様・柔軟化
- ✓ 会議室の利用方法の提案を発信することによる利用促進
- ✓ 海洋プログラム(ディンギ・シーカヤック体験)の開催
- ✓ 小型船舶操縦者ライセンス取得講習
- ✓ 地元名産物を取り扱うマルシェや音楽イベントの定期開催による地域とのつながり強化
- ✓ バリアフリーを推進した施設作りと周知

1.施設運営の工夫による利用促進

(1)海の駅への登録

湘南港は既に、「海の駅」の設置・登録の条件となる①来訪者が利用できる船舶係留施設があり、②予約受付や情報提供を行うガイド(受付担当者)と③公衆トイレが設置されています。大会やイベントの開催を行うことは、魅力ある海街づくりの一環であり、「海の駅」の登録により陸域だけでなく海域からの利用者を誘致していきます。また、「海の駅」の登録により、パンフレットやホームページ、ブログ等の情報発信支援を活用し、関係諸団体と連携してイベント周知を行っていきます。

(2)施設の無休化、営業時間外における一部サービス継続

①施設の無休化

年中無休で営業を行い、湘南港の利用促進を図ります。

湘南港は日本代表選手の練習拠点として利用されている他、学生の部活動による利用が活発であることから毎週火曜日は休港日を設けないこととします。年末年始についても、クルーズによる利用者が多いことから営業を行います。なお、12~13時もスタッフの昼休憩時間のローテーション体制を構築することで窓口業務はもとより、ハーバー業務(クレーン上下架作業など)も要望に応じて受け付けます。

②営業時間外における一部サービスの継続

クルーザーヨットやモーターボートについては、営業時間外における利用も需要があることから、届出を提出して頂くことで、警備員が各種対応を行い、利便性を高めます。

現指定管理港である葉山港においては、これらのサービスを行っており、利用者から好評を頂いております。

(3)施設の稼働率向上

①空きバース、空き船具庫の随時契約の推進【提案】

バースは解約者が生じた場合に速やかに次の契約希望者を募集し、船具庫は契約形態を多様化（1ヶ月などの短期契約）することで稼働率が向上し、利用料の徴収増加も見込まれますので、契約の柔軟化について、貴県にご提案・協議します。

②大型艇への対応【提案】

クルーザーヨットによる海洋レジャーはコロナ禍でも注目され、近年のクルーズ人気は上昇傾向にあります。以前より、40ftクラスの大型艇の保管を希望される契約者も多く、大型化対応は需要があると思われます。

実際のニーズを踏まえた大型艇の受け入れのためのバース確保等を貴県にご提案・協議します。

③会議室の利用推進

会議室の利用率は、土日に比べると一般的に平日は少ない傾向にあると思われます。現状を確認しつつ、稼働率が低い場合には、利用促進のための取り組みを積極的に進めて参ります。

具体的には、地域振興を目的に、自主事業（個展会場の利用やアニバーサリー事業等）にて利用するといった活用方法を検討していきます。（詳細については、本計画書 p.52）

(4)施設の有効活用

①遊歩道観戦場所の確保

残念ながら、オリンピックではコロナウイルス感染予防のため、観客の集客ができず、セーリングスポーツを生で観戦してもらえる機会は作れませんでした。オリンピック開催地として、国際大会をはじめ、国内大会の誘致を行い、まずは地元の人を誘致、その後他県の誘致と、フェーズごとに企画を拡大し、湘南港とセーリングスポーツのさらなる発展を目指します。大会時には防波堤周辺の遊歩道を観戦場所として、仮設テーブルや椅子、陸上・海上モニターなどを設置し、江の島の自然を感じながら楽しめる観戦施設を提供します。

②学校の課外活動への活用

平日の利用者が少ない期間を藤沢市の学校等の課外活動等に開放することにより、施設全体の稼働率が向上する他、セーリングスポーツや施設の存在を紹介することができます。平日はヤードの利用も少ないため、多くの学生が訪問しても比較的安全に授業が行えます。タイドプールを利用した安全な生物環境学習やセーリングに関する知識を深めてもらう他、スポーツ学習の一環としてセーリングに関する座学についても授業を行うことができます。当社ではブルーフラッグをはじめ、SDGsに関する社会活動を多々行っていることから様々な観点での情報提供が可能です。

③親子で楽しめる環境学習の場の創造

観光目的で訪れた利用者でも施設内を楽しめるよう、いきもの図鑑・判定アプリなどと連動し、ゲーム感覚で生物情報を学べる方法を紹介していきます。湘南港の緑地やタイドプール周辺には、温暖な湘南ならではの植物や水生生物が生息し、子供でも楽しめる安全な環境学習の場として適しています。

なお、利用者が確認できた場合は、巡回を強化します。



BIOME(バイオーム)

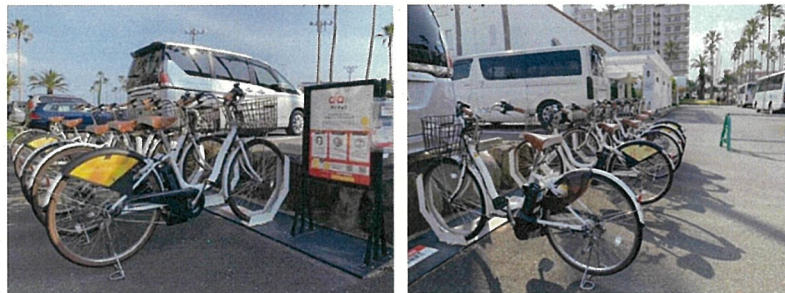
④レンタルサイクル

本計画書 p.52 でも示す通り、〈みなと〉と〈自転車〉は、非常に高い親和性が窺えます。

湘南港は駅からやや遠く、道路渋滞も頻繁にみられる土地柄のため、周辺観光にはサイクリングが適しています。近年のSDGsの高まりからも、二酸化炭素を排出しないエコな乗り物である自転車は、観光客からの需要が高いと考えられます。

したがって、湘南港入口にレンタルサイクルのステーションを開設することで、港の利用者の利便性を向上させるとともに、周辺観光の活性化を図ります。

江の島周辺では観光客でにぎわうエリアもあることから、安全性が高く、お勧めの風景やお店を掲載したサイクリングマップを配布することを検討します。



レンタルサイクル設置状況(当社リビエラ逗子マリーナの例)

⑤ロケ撮影の受け入れ

自然の豊かさとヨットやセーラーが共存する湘南港の特徴を生かし、貴県や町と協議のうえロケ地として撮影を受け入れます。撮影時には船など個人情報については配慮し撮影してもらいながら、背景にヨットを映してもらおうなど、湘南港ならではの風景を提案します。

2.海洋レジャー振興による利用促進

(1)当社グループによる大会開催

近年は新型コロナウイルス感染拡大により中止を余儀なくされていますが、本格的なレースからファンレースまで、様々なニーズに応える大会を企画します。当社が湘南港で主催したものは過去にはありませんが、今後は共催も含めた検討を進め、近傍マリーナとの協力体制により、より一層集客力が生まれ、海洋振興に寄与するものと考えられます。

大会名	説明
加山雄三カップ	加山雄三インヴィテーショナル クルーザーヨットレース・ディンギーヨットレース及び加山雄三のライブパーティー
Trans-Sagami Yacht Race	本格的な外洋クルーザーヨットレース 下田市⇒三浦市 約 58 マイル相模湾横断レース
Shonan Race	クルーザーヨットレース 毎月開催 1年 12回のシリーズレース
キスマスター ハギマスター	ボートフィッシング 史上最強の小物釣り大会 春キス 秋カワハギ



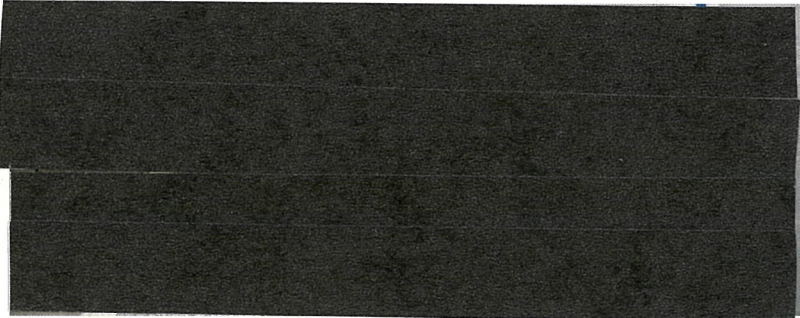
(2)青少年向け海洋プログラム(ディンギー・シーカヤック体験)の開校

管理運営ポリシーの3(健全な青少年育成の場)に掲げる通り、青少年向けの海洋イベントを開催します。

リビエラシーボニアマリーナ等で好評を得ているリビエラ海洋塾に代表される当社の海洋プログラムのノウハウから、ディンギーヨットやシーカヤック、ロープワークの体験プログラムを通じて、湘南港でも青少年が海の豊かさや環境保護の大切さを学ぶ機会を提供します。

また、管理運営ポリシーの1(みんなの湘南港)に掲げた通り、アクセスディンギーなど、障がいのある方にも安全に楽しんで頂けるプログラムを用意し、湘南港のノーマライゼーションを推進します。

これらの海洋プログラムは、小中学校の総合学習の場としてもご利用いただけるよう、積極的に教育委員会等にPRします。



ディンギー・シーカヤック体験 ロープワーク体験(リビエラ海洋塾) アクセスティンギー体験

(3)小型船舶操縦士免許講習

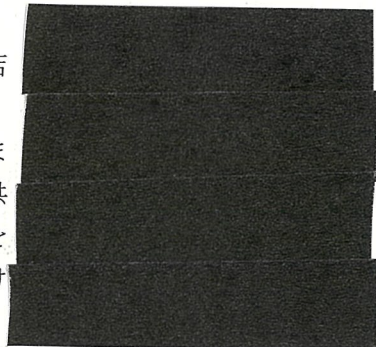
当社のリビエラ逗子マリーナ、リビエラシーボニアマリーナにて小型操縦士免許取得のための「リビエラボートライセンススクール」を開催しており、湘南港からの申し込みも可能にし、湘南港の利用促進につなげます。(詳細については、計画書 p. 53 にて記載)

(4)ワンストップサービスの提供

当社は日本マリンインポーター協議会に加盟する新艇正規販売店です。

中古艇の販売も扱っており、艇の購入からメンテナンス、保管までをマリン事業に精通している当社がワンストップでサービス提供することにより、煩雑な手続き・作業が不要になるとともに、艇を良く理解したスタッフが管理することで、より安心してご利用頂けます。

また、当社の近郊マリーナにおけるビジター利用割引などを湘南港の契約者に提供することで、県内海洋振興を発展させます。



取扱いブランド

3.地域活性化とその相乗効果

(1)イベントの積極的な開催

江の島に位置する湘南港は地域活性化の担い手として高いポテンシャルがあり、地域の人々が活躍できる場を積極的に提供していきます。

①地元の名産物を取り扱う店舗を集めた『湘南マルシェ』の定期開催

当社が運営するリビエラ逗子マリーナでも人気のマルシェを湘南港にて月に1回程度、臨時バースの空きスペースや駐車場の一部を開放して開催します。湘南港においても、イベント時に地元野菜や水産物等、名産物を取り扱う店舗に出店頂き、賑わいを創出します。出店は地元店舗を中心に幅広く募り、地域の福祉事業所等にも出店頂けるか等、打診します。なお、湘南マルシェにおける出店料は無料とし、公共施設として開かれた開催に配慮します。

さらに、各港のマルシェ開催日程等をホームページ等で掲載することにより、湘南港と周辺港を一体とした海街の形成やビジター艇の誘致に貢献します。